

6.1 カリキュラムの編成

2005年以降に設定した目標

1. 「専門社会調査士コース」については、COEプログラム終了後に発足する予定の先端社会研究所構想の中心部門であるソーシャルサイエンスショップ（大学・大学院と行政・企業・NPOなどを繋ぐための研究部門であり窓口でもある）の教育部門への位置づけをふくめて、検討を継続する。
2. 学部学生の大学院進学への動機づけについては、目的をより明示的にし、講義内容の再検討、シラバスの記述方法の改善とともに、次年度以降のカリキュラム再編時に、COEプログラムとの関係もふくめて検討する。

進捗状況報告

- 1については、調査士認定機構による専門社会調査士資格授与の開始とともに、資格取得のみを目的としたコースの意味は希薄化しており、コース自体の位置づけを再検討している。COEプログラム終了後に発足する予定の先端社会研究所構想の中心部門であるソーシャルサイエンスショップの教育部門への位置づけもそのひとつである。
- 2については、学部学生の大学院進学への動機づけについては、講義内容、シラバスの記述方法ともに大幅な改善をする必要があり、COE終了後の研究科カリキュラム全体の改善のなかに位置づけて検討中である。

学内第三者評価

「専門社会調査士コース」の位置づけの検討が行われている。「21世紀COE特別研究」という科目を設置し、大学院生の英語によるプレゼンテーション、ディベート能力を高めるための演習を行っているのは評価できる。
シラバスについては「6.5 教育の質の向上」で記す。